



新年のごあいさつ

担当常任理事 谷本 雅伯



明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

本年も当検査センターは「常に会員とともに歩む検査センター」として、先生方の「診療支援・経営支援・職場支援」の充実に向け取り組んでまいります。

過去数年間を振り返ってみますと、平成26年9月に開催した検査センター運営委員会の中で松村会長から諮問した件に対し、会員へのアンケートを経て、運営委員の先生方に答申いただき、「会員支援、特に診療支援に関する高付加価値サービスの創出」に向け具体的に動き始めることになりました。

その中からまずは、疾患別検査ガイドの作成・発刊を進めてきました。昨年2月に『甲状腺疾患2016』を、6月には『貧血2016』を、そして11月に『CKD（慢性腎臓病）2016』を発刊いたしました。ガイド発刊後には、学術講演会を開催し、概要説明等を行っております。

検査データ手帳の作成については、昨年9月に作成、配布し、すでに各医療機関でご活用いただいております。

また、医療安全・5S活動の院内導入支援も5S見学会などを継続して実施しています。

上記のほか、感染症情報等のインフォメーションの発行をはじめ、医療安全・院内感染対策研修会や検査情報の学術講演会もさらに内容を充実させ、積極的に取り組んでまいります。

本年も、会員の先生方のご要望、ご意見に対し真摯に向き合いながら、一層の精度管理向上と高付加価値サービスの充実を図ります。今後も信頼いただける臨床検査センターを目指して、役職員一同、誠心誠意努める所存でございます。何卒、お引き立ていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

